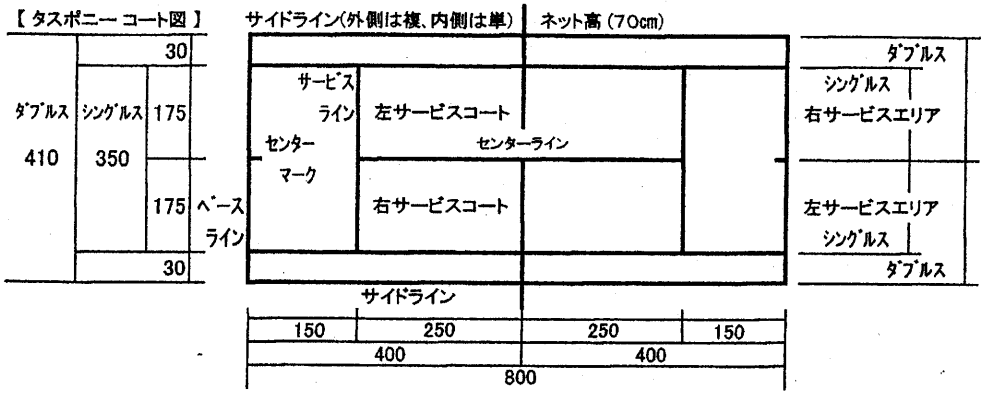
タスポニー（TASPONY）競技概要

【 誰でも、いつでも楽しめる、ふかふかスポンジボールを手で打つニュースポーツ 】

1. 競技場設備及び用具

(1) コートの大きさ 【 タスポニー コート図 】参照
(2) ラインの色は白とする。ただし、コートの状況に応じて色を変えても良い。ラインの幅は4cmか5cmとする。
(3) ネットの高さは70cmとする。色は緑色とし、上縁に幅7cmの白布を二つ折りにして覆ったものとする。
(4) ボールは、黄色またはピンク色のスポンジ製とする。ボールの直径は17cm、重さは50gを標準とする。
150cmの高さからコートに落とし、ボール下端で25cm～35cmの高さにバウンドするものを標準とする。

【 タスポニー コート図 】



2. 競技種目（ゲーム数・ポイント数）

(1) 競技種目は、シングルス（男子・女子）と、ダブルス（男子・女子・混合）、の5競技がある。
(2) ゲーム数は、2ゲーム先取の3ゲーム制とする。ただし、状況に応じて、1ゲーム制で行ってもよい。
(3) ポイント数は、各ゲーム21点とする。 ただし、女子シングルス及びシニア男子シングルスは、15点で決する。ゲームの点数は状況に応じて減じてもよい。 ただし、奇数とする。

3. 競技方法（試合進行）

(1) 試合開始前に主審の指示に従い、トス（ジャンケン）を行い、勝ったサイドが次のいずれかを選ぶ。
サービスか、レシーブか、コートのどちらかのエンド。（負けたサイドは残りのいずれかを選ぶ。）
(2) 主審の「レディー」のコールで各ポジションにつき、「プレータスポニー」のコールでゲームを開始する。

4. サービス

(1) サーバーは自身のいずれの足もサービスエリアから出ることなく、サービスエリア内にボールを落とし、ワンバウンド後に片手で打つ。
(2) ボールは、ネットを挟んだ対角線の相手サービスコート内に入らなければならない。
(3) サービスは、得点するごとに同じサーバーがサービスエリアを替えてサービスを行う。
ただし、レットの場合は同じサービスエリアから行う。

5. 得点（ラリーポイント）とサービス権の移動

(1) サービスサイドが勝ったとき、サービスサイドが1点を得る。
(2) サービスサイドが負けたとき、サービスオーバーとなり（レシーブサイドが1点を得る。）レシーブサイドにサービス権が移る。（サービス権が移ったとき、サービスサイドの得点が偶数のときは右側。奇数のときは左側の選手がサービスを行う。）
(3) 第1ゲームに勝ったチームが第2ゲームのサービス権を得る。（第3ゲームは第2ゲームに勝ったチーム）
※ コートチェンジは、(1) 第2ゲームの開始前。 (2) 第3ゲームの開始前。（第3ゲームを行う場合）
(3) 第3ゲーム（1ゲーム制のときは1ゲーム目）の途中いずれかのチームの得点が過半数に達したとき。

6. レシーブ

(1) レシーバーは、サービスボールがサービスコートにワンバウンド後ボールを打ち返す。
(2) ダブルスでは、サービスサイドの得点が、偶数のときは右サービスエリアからサービスをし、右サービスコートに入ったサービスボールを右のレシーバーがレシーブする。
（奇数の時は、左サービスエリアからサービスをし、レシーブは左のレシーバーがレシーブする。）
(3) サービスボール以外は、ダイレクトにノーバウンドで打球してもよい。

7. サービス・レシーブの間違い

(1) サービス・レシーブの順番の間違いが見つかった時は、その間違いを訂正し、得点はそのままとする。

8. フォルト

① サービスフォルト
(1) ラインクロス（サーバーの足が規定の範囲を超えたとき。）
(2) サービスボールが落下中にサーバーの身体または、着衣に触れたとき。
(3) サービスを中止する意志が明らかでないとき。

② レシーブフォルト
(1) レシーバーは、サービスボールがサービスコートにワンバウンド後ボールを打ち返す。
(2) ダブルスでは、サービスサイドの得点が、偶数のときは右サービスエリアからサービスをし、右サービスコートに入ったサービスボールを右のレシーバーがレシーブする。
（奇数の時は、左サービスエリアからサービスをし、レシーブは左のレシーバーがレシーブする。）
※ 上記規定に反したとき。

③ アウトボール
(1) ボールが、ノーバウンドで相手の定められたコート（サービスボールを除き、相手コートの全域）に入らなかったとき。（ノーバウンドで入れば飛行区域は問わない。）
(2) ボールが、ネット・ポール以外の物や相手プレーヤー以外の人に当たったとき。

④ ノットアップ
※ 自コートに入ったボールを2度目のバウンド前に打てなかったとき。

⑤ オーバーネット
※ プレーヤーの身体または着衣がネットを越えたとき。

⑥ タッチネット
※ プレーヤーの身体または着衣がネットに触れたとき。

⑦ ダブルタッチ
※ ダブルスでプレーヤーとそのパートナーが同時にまたは連続してボールを打ったとき。

⑧ ドリブル
※ 1人のプレーヤーが2度以上連続してボールを打ったとき。

⑨ ホールディング
※ プレーヤーが手でボールを静止させたり、押し出したり、持ち上げたりしたとき。

⑩ ダブルハンド
※ プレーヤーが両手でボールを打ったとき。（実際に両手に当たったときのみ。）

⑪ ビサイドハンド
※ プレーヤーが手首より先の部分以外で打ったとき。

⑫ インターフェアー
※ 相手プレーヤーのプレーを妨害したとき。

※ 競技者の心得

① タスポニー競技参加者は競技規則を遵守し、ゲーム中、常にフェアープレーの精神を忘れずに、行動しなければならない。
② 競技を通して他の多くの仲間と交流するようにし、勝敗にこだわってはならない。
③ 常に「 やさしく、楽しく、伸び伸びと 」をモットーにプレーしなければならない。